

マン・ハント (1941)

MAN HUNT

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 106分

初公開日 1995/01/28

公開情報 ケイブルホーク

【解説】

「ドクトル・マブゼ」「メトロポリス」など多くの傑作を手掛けてきたドイツ映画の巨匠F・ラングは、ヒトラーの映画政策を逃れて33年にベルリンを脱出、パリからハリウッドに渡った。だがこの作品で、当のヒトラーの暗殺を描き、アメリカ側のプロパガンダとして機能してしまったというのが何とも皮肉だ。世界に名だたる狩りの名人ソーンダイクは、たまたまヒトラーに照準を合わせてしまったために暗殺未遂事件の張本人としてゲシュタポから追われる事になってしまう。かろうじてロンドンまで逃げ延びたソーンダイクは、そこで美しい娘と出会い恋に落ちるが、姿なき追っ手は確実に彼に迫っていた……。原作はジェフリー・ハウスホールドで、「駅馬車」のダドリー・ニコルズが脚色。光と影を巧みに使ったラングのサスペンス演出が堪能できる逸品だが、日本では長らく未公開で、J S Bにて本邦初放映された後、95年に劇場公開された。

【クレジット】

| | | |
|----|---------------|--------------------|
| 監督 | フリッツ・ラング | Fritz Lang |
| 原作 | ジェフリー・ハウスホールド | Geoffrey Household |
| 脚本 | ダドリー・ニコルズ | Dudley Nichols |
| 撮影 | アーサー・C・ミラー | Arthur C. Miller |
| 音楽 | アルフレッド・ニューマン | Alfred Newman |
| 出演 | ウォルター・ピジョン | Walter Pidgeon |
| | ジョーン・ベネット | Joan Bennett |
| | ジョージ・サンダース | George Sanders |
| | ジョン・キャラダイン | John Carradine |
| | ロディ・マクドウォール | Roddy McDowall |